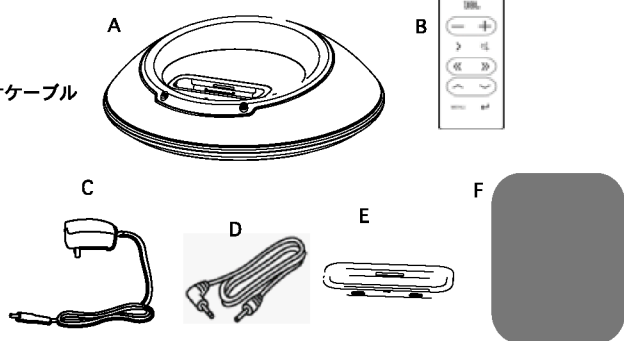


① 梱包内容を確認する

- A. JBL on station III 本体
- B. リモートコントロール
- C. AC電源アダプタ
- D. 3.5mmステレオミニプラグ付きオーディオケーブル
- E. iPodユニバーサルDockアダプタ 8個
- F. キャリングケース

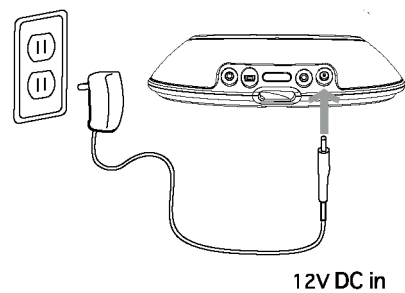
多言語セットアップマニュアル
日本語セットアップガイド(当紙、箱に添付)
保証書(日本国内1年保証、箱に添付)



② AC電源アダプターを接続する

最初に、付属のAC電源アダプターをJBL on station IIIの12V DC in端子に接続します。その後壁のコンセントに電源ケーブルを接続します。

- * ACアダプタは、必ず付属のものをお使い下さい。
- * ACアダプタは必ずJBL on station IIIに接続してから、最後にコンセントに接続して下さい。
- * 当ACアダプタは100V~240V(50Hz/60Hz)ですので、国内外でご使用いただけます。(海外でご使用の場合は、ご使用になる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。)



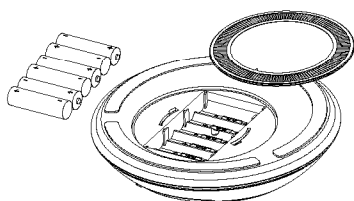
12V DC in

<JBL on station III は乾電池でも使用できます>

裏面のバッテリーカバーを、時計回りの方向に回転させてはらずして、市販の単3乾電池を6本装着してください。電池を装着したら、バッテリーカバーを時計回りと逆方向に回して元に戻します。

- * 電池で使用している時は、Dock接続しているiPodへの充電は行われません。
- * 電池で使用している時に、約10分以上停止状態やミュート状態が続くと、節電のため自動的に、JBL on station III がオフになります。再度電源スイッチを押すと復帰します。

- * 電池を装着する際は、必ずプラスマイナスを確認の上装着してください。



③ iPodをセットする (第4世代以降のDockコネクタ装備のiPodに対応。*第3世代には非対応)

a. お手持ちのiPodに適合する「iPodユニバーサルDockアダプタ」をJBL on station III にセットします。

- ・ユニバーサルDockアダプタの凹んでいる側を上に向けて、中心に空いている穴にJBL on station III のDockコネクタを通して設置します。この時、ユニバーサルDockアダプタの外側にある2カ所の突起が前に、スリットが後ろになるようにして、JBL on station III のDockアダプタ設置スペースにはめこみ、確実に固定してください。

※ユニバーサルDockアダプタは、第1世代iPod nano(2005年9月発売)以降に発表されたiPodシリーズに付属していますので、それをJBL on station III に装着してご使用ください。(iPod shuffleなど、Dock端子を装備していないiPodシリーズは除く)

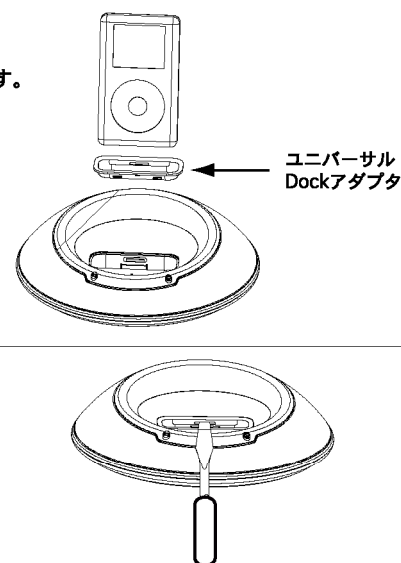
それ以外のiPod(4G, Color Display), iPod photo, iPod miniにユニバーサルDockアダプタは付属していません。JBL on station III に付属しているユニバーサルDockアダプタから、お手持ちのiPodに適合するタイプを選び、ご使用ください。(付属のユニバーサルDockアダプタの裏側に対応するモデル名が刻印してあります)

※ご使用になるiPodと適合しないアダプタを取り付けてDock接続してしまうと、ぐらつきが生じ、双方のDockコネクタを破損する可能性がありますのでご注意ください。

b. iPodを接続します。

- ・iPodのDockコネクタをJBL on station III のDockコネクタに根本まで確実に接続します。

※iPod (第1,2世代)のFire-wireコネクタ、iPod shuffleのUSB2.0コネクタ、第3世代iPodには対応していません。iPodのヘッドホン端子と、Audio in端子を付属のオーディオケーブルで接続します。

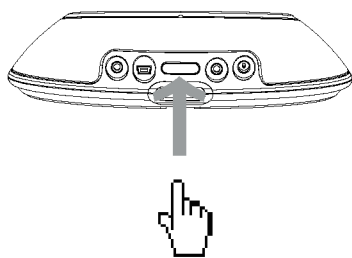


アダプタ後側の溝に、マイナスドライバーなどの先を軽く入れて手前に持ち上げる様にして外します

④ 電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れます。電源が入ると、JBL on station III のLEDが点灯します。電源をオフにする場合、電源スイッチを再度押します。

長期使用しないときはコンセントからAC電源アダプターのプラグを抜いてください。

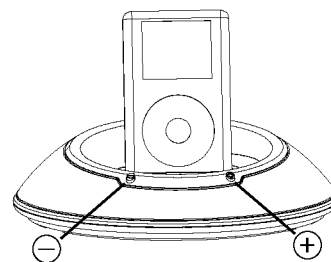


⑤ 再生する

接続したiPodを再生し、JBL on station III の「+」又は「-」ボリュームを押して音量を調節します。

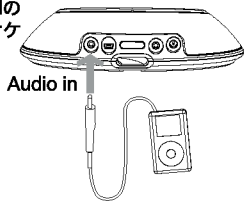
- ◆ミュート(消音)機能
+と両方のボリュームスイッチを同時に押すとミュート機能が働き、+どちらかのスイッチを押すとミュートが解除されます。

※iPod本体のボリューム機能は、ヘッドホン出力のみ音量調整が可能という仕様のため、Dockコネクタ接続で音楽再生する際、iPod本体の音量調整は無効になります。



◆iPod以外のオーディオ機器やPCなどにも接続できます。

iPod以外のオーディオ機器やPCなども、ヘッドホン端子とJBL on station III のAudio in端子を、付属のオーディオケーブルで接続して使用できます。



◆iPodの充電ができます。

AC電源アダプタを接続し、iPodをDock接続している場合、自動的にiPodに充電が行われます。

- * 電池で使用している場合は充電は行われません。
- * 第3世代iPodには対応していません。

◆パソコンとの接続

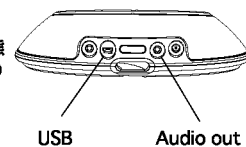
市販のUSBケーブルをJBL on station III とパソコンのUSB端子に接続すれば、iPodをJBL on station III にDock接続したままデータの転送ができます。

2007年10月現在 iPod touchは、この機能をお使いいただけません。最新の対応情報は弊社ホームページにて御覧下さい。

- ※USBケーブルは市販の「USB Aコネクタ オス・ミニUSB Bコネクタ オス(5pin)」をご購入下さい。
- ※Dockとして使用する場合は電源をオンにして使用してください。
- ※Audio outにヘッドホンを接続してもゲインが低いため、殆ど音は聞こえません。
- ※ステレオコンポなどに接続する場合は、スピーカーの破損を防ぐ為にコンポ側の音量を絞った状態で接続して下さい。

◆Audio-out<音声出力>

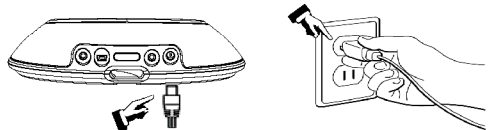
JBL on station III のAudio out端子からオーディオ信号が出力されます。出力ゲインはボリュームと連動しており、JBL on station III のボリュームを最大にした状態でミュートすれば一般的なラインレベルとなり、市販のステレオミニ→RCAピン×2の変換ケーブルなどを使用して、ステレオコンポなどに接続ができます。



USB Audio out

トラブルシューティング

電源が入らない



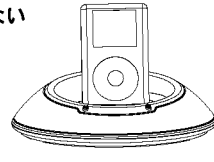
- ① AC電源アダプターがコンセント及びJBL on station III 本体に正しく接続されているかご確認ください。電源が入るとJBL on station III のパワースイッチLEDが点灯します。

② AC電源アダプターは必ず付属品を使用します。



誤って付属品以外のAC電源アダプターを使用していないかご確認ください。

iPodで音量調整ができない



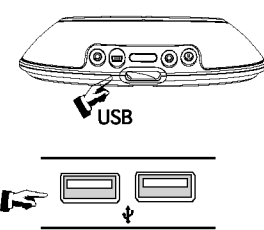
iPodの仕様上、Dockコネクタからの音声出力はiPod本体で音量調整できません。Dockコネクタ接続で音楽再生する場合、JBL on station III で音量調整してください。

iPodの操作ができない

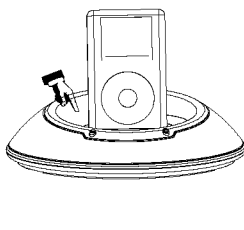


iPodのHOLDスイッチをご確認下さい。HOLDスイッチがオンになっている場合、オフにしてください。

Dock接続した時にパソコンがiPodを認識しない



- ① 市販のUSBケーブルがJBL on station III とパソコンのUSBコネクタに、又、iPodがDockコネクタに根本まで正しく接続されているか、ご確認ください。



- ② JBL on station III の電源がONになっているかご確認ください。電源が入っていればLEDが点灯します。

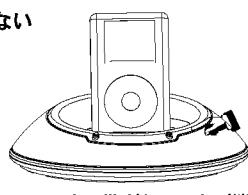
③ iPodはUSB接続の場合、5V・500mAの電力が供給できる高電力型USB2.0ポートに接続しないと動作しません。以下内容についてご確認ください。

- ・USB1.1ポートや、キーボード用の低電力型USB2.0ポートでは認識致しませんのでご注意ください。
- ・バスパワーのUSBハブ(ACアダプターを使用しないタイプ)経由で接続しているも認識致しません。5V・500mAの電力供給が可能なセルフパワー(ACアダプターを使用するタイプ)のUSB2.0ハブに変える事で動作が改善されることがあります。
- ・パソコンやご使用の環境によっては、高電力型USB2.0ポートであってもパソコン本体から十分な電力が供給されていない場合があります。USB2.0ポートが複数搭載されているパソコンの場合、動作しないポートとは別のポートに接続した時に改善されることがあります。
- ・パソコンのUSB2.0ポートに直接接続しても動作しない場合でも、5V・500mAの電力供給が可能なセルフパワー(ACアダプターを使用するタイプ)のUSB2.0ハブを追加する事で動作が改善されることがあります。

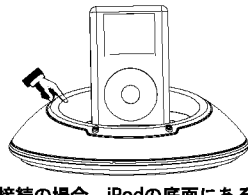
④ 第3世代iPodとのDock接続は対応していません。

2007年10月現在 iPod touchは、JBL on station III 経由でのパソコン接続に対応していません。iPod touchとパソコンを直接接続してデータ転送を行ってください。最新の対応状況は下記弊社ホームページを御覧下さい。

音が出ない



- ① JBL on station III がミュート(消音)または音量が非常に小さくなっていないか「+」ボリュームを押してご確認ください。



- ② Dockコネクタ接続の場合、iPodの底面にあるDockコネクタとJBL on station III のDockコネクタが正しく接続されているかご確認ください。



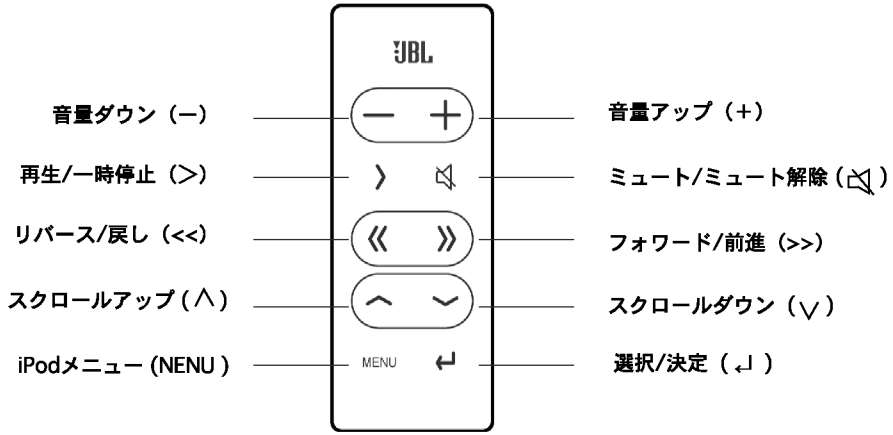
- ③ Audio in端子(3.5φステレオミニジャック)接続の場合、JBL on station III のAudio in端子と、オーディオ機器のヘッドホン端子が付属のオーディオケーブルで正しく根本まで接続されているかご確認ください。



- ④ JBL on station III のAudio in端子と、オーディオ機器のヘッドホン端子を接続している場合、接続しているオーディオ機器の音量がオフまたは非常に小さくなっていないかご確認ください。

※必ずお手持ちのiPodに適合するiPodユニバーサルDockアダプタを装着して下さい。適合しないアダプタを装着してiPodをDock接続して使用すると、ぐらつきや接触不良などが生じ、故障の原因になります。

リモートコントロール



当リモートコントローラー（以下リモコン）は、JBL on station III の音量調整だけでなく、Dock 接続している iPod 本体の操作も可能です。

準備

- ・ iPod を JBL on station III に Dock オン接続して、電源スイッチをオンにします。
- ・ JBL on station III の Dock コネクタと iPod の Dock コネクタが正しく根本まで接続してあるか確認します。
- ・ リモコン裏面の下部左側にある爪を右側に押さえながら、電池挿入部を引き出します。動作確認用電池を保護しているシートを外し、確実に電池をリモコンに装着してから、電池挿入部を戻します。

音楽を聴く

- ・ iPod を ON にする：iPod がスリープ状態の場合、リモコンのいずれかのボタンを押すと復帰します。
- ・ トラックを再生する：再生/一時停止ボタンを押します。
(iPod 上で曲が選択されていない場合は、ライブラリの最初の曲を再生します)
- ・ トラックを一時停止する：再生中に再生/一時停止ボタン (>) を押します。
- ・ 次のトラックにスキップする：フォワード (前進) ボタン (>>) を押します。
- ・ 前のトラックにスキップする：リバース (戻し) ボタン (<<) を押します。
- ・ 再生中のトラックを早送りする：フォワード (前進) ボタン (>>) を押したままにします。
- ・ 再生中のトラックを早戻しする：リバース (戻し) ボタン (<<) を押したままにします。
- ・ 音量を上げる：音量アップボタン (+) を押します。
- ・ 音量を下げる：音量ダウンボタン (-) を押します。
- ・ ミュート (消音) する：ミュート/ミュート解除ボタン (🔇) を押します。
- ・ ミュート (消音) を解除する：ミュート/ミュート解除ボタン (🔇) を押します。

iPod を操作する

- ・ iPod を ON にする：iPod がスリープ状態の場合、リモコンのいずれかのボタンを押すと復帰します。
- ・ iPod のカーソルを上スクロールする：スクロールアップ (∧) ボタンを押します。
- ・ iPod のカーソルを下スクロールする：スクロールダウン (∨) ボタンを押します。
- ・ 前のメニューに戻る：iPod メニューボタン (MENU) を押します。
- ・ メニュー/トラック/機能を選択する：選択/決定ボタン (↵) を押します。

* 当リモコンにて任意に JBL on station III を電源オフの状態にする事はできません。その場合は、JBL on station III 本体の電源スイッチを押してオフにしてください。

トラブルシューティング

● リモコンが作動しない

1. JBL on station III の電源がオンになっているか確認します。
2. リモコンの発光部が隠れていないか、JBL on station III に発光部を向けているか確認します。
3. 直射日光等の強い光がリモコンからの信号をさえぎっていないか確認します。
4. JBL on station III と iPod 双方の Dock コネクタが正しく根本まで接続してあるか確認します。
5. JBL on station III の電源をオフにして iPod をはずします。30秒後再び iPod を接続して JBL on station III の電源をオンにしてください。
6. iPod をリセットしてください。
7. リモコンのバッテリーを交換してください。

電池の交換

リモコンの電池は通常約1年間で消耗します。電池交換の際は必ず新しいCR2025型リチウム電池を使用してください。
(工場出荷時にリモコンに装着してある電池は動作確認用です。通常より早く消耗しますのでご注意ください)

iPod touch の場合、音楽再生に関する「music」メニュー内、及び音量調整をリモコンにて操作できます。iPod touch のトップメニュー内での操作や「music」メニューから、トップメニューに戻す操作はできません。これらは直接 iPod touch を操作してください。最新の対応状況は弊社ホームページをご参照下さい。

製品の仕様

- 方式：iPod 対応アクティブスピーカー ■オーディオ入力：iPod 専用 Dock コネクタ、3.5mm ステレオミニジャック ■データ出力：ミニUSB B コネクタ ■音声出力：3.5mm ステレオミニジャック ■入力インピーダンス：10kΩ 以上
- コントロール部：プッシュボリューム ■周波数特性：100Hz～20kHz ■使用ユニット：Odyssey ネオジウムドライバー(25mm 径)×4 ■SN比：85dB 以上 ■最大出力：総合12W (6W×2)
- 重量：510g (ACアダプター、電池、リモコン除く) ■サイズ：直径190mm×高さ50(mm) ■電源：付属ACアダプター(100V～240V 50Hz/60Hz) または単3乾電池×6本 ■製品構成：JBL on station III 本体、リモートコントローラー、AC電源アダプタ、3.5mmステレオミニプラグ付オーディオケーブル、iPodユニバーサルDockアダプタ8個、キャリングポーチ、多言語セットアップガイド、日本語セットアップガイド、保証書(1年間国内保証)
- <リモートコントロール> ■電池：CR2025型(3V) ■寸法：86×32×7mm ■重量：20g (電池込み)

安全上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・ 付属品以外の AC 電源アダプターの使用はしないでください。又、付属の AC 電源アダプターを他の機器に使用する事もおやめください。
- ・ この機器を船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- ・ AC 電源アダプターを使用する際、表示されている以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。電源プラグを正しく差し込まないで操作すると火災や感電の原因となります。
- ・ 電源コードを束ねたり結んだままの状態では通電しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
- ・ 電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)弊社サービスセンターに交換をご依頼ください(有償です)。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・ タコ足配線や延長コードの使用はできるだけ避けてください。発熱により火災・感電の原因となります。
- ・ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
- ・ 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。
- ・ 万一煙がでて、変なにおいや音があるなどの異常事態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機体本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して弊社東京サービスセンターへ修理をご依頼ください。
- ・ 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ 内部に水などが入った場合は、まず機体本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・ 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機体本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・ アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因となります。
- ・ この機器を解体や改造をしないでください。感電の原因となります。
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ・ 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- ・ 機器本体の電源スイッチを切っても電源プラグをコンセントから抜かなければ電流は流れています。長期間この機器をご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ・ オーディオ機器を接続する際、各々の取扱説明書に従い指定のコードを使用して接続してください。指定以外のコードを使用すると発熱しやけどの原因となることがあります。
- ・ 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

オンラインご愛用者登録のご案内

- ・ この度は harman-multimedia 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では harman-multimedia 製品のご購入者を対象に、ホームページ上にてオンラインご愛用者登録を承っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など、harman-multimedia 製品の最新情報をお送り致します。

アフターサポート

- ・ 日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。
- ・ 日本国内のアフターサポートに関するお問い合わせは、ハーマンインターナショナル株式会社 東京サービスセンターまでご連絡ください。